

# 平成28年度 高鍋高校OB祭

# 歩 AYUMU ~自分らしく~



8月13日(土) 記念講演 『継続する心』

講師 山本 昌さん (スポーツコメンテーター)

1984年中日ドラゴンズに入団。アメリカでの野球留学で投球を磨き、帰国後はドラゴンズのリーグ優勝にも大きく貢献。90年からチームのエースとして93年、94年、97年と3度もリーグ優勝を獲得する。2000年に入ってから次々と最年長記録を更新。06年9月(41歳1ヶ月)には最年長ノーヒットノーラン、10年9月(45歳)には最年長完投勝利・完封勝利、13年8月(48歳)には最年長安打、14年9月(49歳)には最年長先発出場、最年長先発勝利投手、そして最年長奪三振を記録。「歩くギネスブック」というニックネームがつくほど記録づくめだった。プロ野球人生31年目を迎えた2015年、長きにわたるプロ野球生活で積み重ねた勝利の量は実に219勝にのぼる。2015年10月7日シーズン最終戦で先発し、32年に渡る現役生活に終止符を打つ。引退後は野球解説者・野球評論家としてテレビラジオ等、多岐にわたり活躍中。



発行  
宮崎県立高鍋高等学校  
同窓会

宮崎県児湯郡高鍋町  
大字北高鍋4262

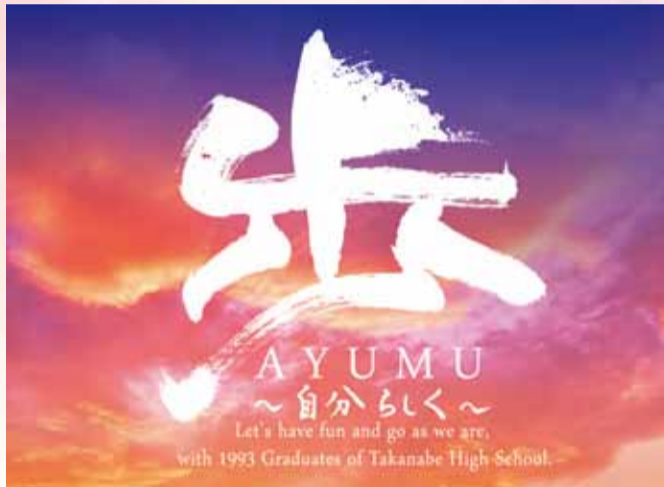
TEL 0983・23・0005  
FAX 0983・23・5096

URL <http://www.narumigaoka.jp/>

## OB祭日程

- ◆平成28年8月12日(金)  
7:25 ~ OB祭ゴルフコンペ  
会場: 宮崎座論梅GC
- ◆平成28年8月13日(土)  
12:30 ~ ①鳴海ヶ丘会総会  
場所: 高鍋町中央公民館会議室  
14:00 ~ ②OB祭記念講演  
場所: 高鍋町中央公民館ホール  
14:00 ~ オープニングイベント  
高鍋高校文化部及び演歌歌手 川野みなみ氏  
15:00 ~ 記念講演 『継続する心』  
講師: スポーツコメンテーター 山本 昌氏  
17:00 ~ (受付) ③OB祭懇親会  
17:30 ~ (開会) 場所: ホテル四季亭  
19:30 ~ (引き続きH5卒同窓生の同窓会)

主催: 鳴海ヶ丘会(宮崎県立高鍋高等学校同窓会)  
主管: 平成28年度高鍋高校OB祭実行委員会(平成5年卒)  
後援: 高鍋町



## Special Live

演歌歌手

川野 みなみさん

高鍋高校昭和43年卒業。  
新曲『日之影・湯の町の駅舎』



私たちには、今年4月14日以降断続的に発生した熊本県・大分県を中心とした「平成28年熊本地震」により被災されたすべての皆様にご心からお見舞いを申し上げます。ともに、少しでも被災地の力になりたいと考え、4月下旬に高鍋町内で街頭募金を行いました。地域の皆様のご

協力のもと、本当に多くの義援金を募ることが出来ました。被災地の皆さまが一日も早く元の生活にお戻りいただけることを心から願っています。OB祭を通して微力ながら被災地の皆様に元気を届けたいと考えています。今回のOB祭では、恒例のゴルフコンペや記念講演を開催いたします。記念講演では、スポーツコメンテーターの山本昌氏を講師としてお招きし、「継続する心」と題してご講演いただきます。山本氏が、どのようにして厳しいプロ野球の中で現役生活32年、50歳まで歩み続けて来られたのか、その人生についてお聞きすることができます。また、オープニングイベントでは、OB祭を通じて現役高校生と共にスクラムを組みたいという私たちの希望により、高鍋高校文化部の皆様による演奏等をご披露させていただきます。さらに、地元でご活躍中である演歌歌手・川野みなみ氏(昭和43年卒)からも歌声を通じて高鍋から元気を発信していただきます。その他、大懇親会など盛りだくさんの内容ですので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。最後に申し上げますが、私たち実行委員会一同伝統の高鍋高校OB祭の成功に向けて最後まで精一杯取り組んでまいりますので、皆様にはこれまで同様変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年度高鍋高校  
OB祭実行委員会  
実行委員長 脇本 隆一

## 平成28年度 高鍋高校OB祭の開催について



昨年度学友団活動の様子(都農駅清掃)

本日は教師という立場であるが、この「学友団活動」は高鍋高校が誇る学校行事の一つである。地元貢献するボランティア活動は今こそ盛んであるが、昔からずっと続いている高鍋高校のような例はあまり聞いたことがない。以前個人的に、この学友団活動がいつどのような経緯で始まったのか調べた事があったが詳しい事は分からなかった。(ご存じの方がいらっしゃったら是非教えて頂きたい。) かつては、学友団活動は終業式毎に年3回実施をしていた。現在は年2回に回数は減ったが、学友団活動は伝統的で素晴らしい活動である。今後も後輩へ引き継いで

本日7月29日は学友団活動が行われる日である。毎年1学期と3学期の終業式の日の午後、自分たちの住む地域の清掃活動などを行う。現在では28地区に分かれて活動を行っているが、海岸清掃や河川敷の清掃、地元保育園の清掃活動を行う地区もある。この日は生徒が地元へ帰るため、原則部活動は中止である。今から30年以上前であるが、私も高校生時代都農駅前ロータリーを清掃していた記憶がある。ただ、活動名や何の目的で行っているのか分からず、ただみんな清掃活動をやるから自分もやらないとまずい。という思いで参加していた。そのため、活動時期や事前の話し合い活動の事もあまり記憶に残っていない。現在は教師という立場であるが、この「学友団活動」は高鍋高校が誇る学校行事の一つである。地元貢献するボランティア活動は今こそ盛んであるが、昔からずっと続いている高鍋高校のような例はあまり聞いたことがない。以前個人的に、この学友団活動がいつどのような経緯で始まったのか調べた事があったが詳しい事は分からなかった。(ご存じの方がいらっしゃったら是非教えて頂きたい。) かつては、学友団活動は終業式毎に年3回実施をしていた。現在は年2回に回数は減ったが、学友団活動は伝統的で素晴らしい活動である。今後も後輩へ引き継いで

なんきんはぜ

同窓会の皆様へ



校長 児玉 康裕

同窓会「鳴海ヶ丘会」会員の皆様方には、日頃より本校発展のために、「明倫奨学金」をはじめ物心両面にわたる心温かな御支援を賜り、篤くお礼申し上げます。また、3万人を超える会員皆様のお礼申し上げます。国内外での御活躍は在校生の誇りでもあり、励みでもあります。

平成28年3月、237名の生徒が卒業し、「鳴海ヶ丘会」会員に加わりましたので、どうぞよろしくお願いをいたします。

近年、子どもの数が減少し、高等学校を取り巻く状況が全国的に厳しくなっていることは皆様御承知のとおりです。宮崎県では、私が教員となった昭和63年頃、中学校卒業生数は2万人を超えていたことが、現在は約1万人に半減しています。中学校卒業生数が急速に減少する中、県内に45校あった県立高等学校も38校となり、また、各高等学校の定員は削減されてきました。

定員削減の波は高鍋高等学校にも及び、昭和63年当時、学年10クラス、全校生徒数1461名であったのが、現在は学年7クラス（普通科6クラス、生活情報科1クラス）、全校生徒数815名となっています（平成25年度から普通科1クラスを普通科探究科学コースにしています）。「今の在学生在を幸せにしよう！」「今の在学生在が幸せになれば、次の代も幸せになりたい」ときつと希望を持って入学してくる。平成28年5月24日、ある会合でOB祭歴代実行委員長から発せられた言葉です。心強く感じました。

情報化・グローバル化・人工知能の進化などにより、自分で考えることが求められる時代に、与えられたものだけを学ぼうとする子どもたちであってはなりません。子どもたちが幸せになるには、答えのない問いにも挑んで思考力や感性を伸ばすことのできる授業を我々教師が展開することが肝要です。そして、一人ひとりの生徒の心に潜む「自発的な学び」に熱い火をつけることです。

次の代の子どもたち（後輩たち）が「幸せになりたい」と、高鍋高等学校の学びの環境を求めて入学してくるよう、今 私たちは「チーム高鍋」で取り組んでいます。

さて、同窓会「鳴海ヶ丘会」の伝統行事である「高鍋高校OB祭」が近づいてまいりました。今年も協本隆一さんを実行委員長とした平成5年卒業の方々が実行委員となり、「歩（AYUMU）」自分らしく〜をテーマとして開催されます。

平成27年度 鳴海ヶ丘会館収支決算報告書

収入金額 1,228,878円
支出金額 969,601円
繰越金額 259,277円

収入の部

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Rows include 繰越金, 高校同窓会, 会館使用料, 雑収入, 合計.

支出の部

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Rows include 燃料費, 電気料, 水道料, 防災費, 修繕費, 火災保険料, 消耗品・備品費, 合計.

平成27年度 高鍋高校同窓会「明倫奨学金」収支決算報告書

収入金額 13,309,636円
支出金額 966,982円
繰越金額 12,342,654円

収入の部

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Rows include 繰越金, 寄付金(高信), 寄付金(郵貯), 雑収入, 合計.

支出の部

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Rows include 明倫奨学金, 事務費, 合計.



明倫奨学金報告とお礼について

同窓会事務局長 猪股 司
明倫奨学金に多くの有志の方々より寄付を賜り、誠にありがとうございました。今年3月末に5人目の奨学生が誕生いたしました。この奨学金制度は皆様の寄付金によって賄われております。どうか今後とも変わらぬ御支援のほどお願い申し上げます。明倫奨学金振込口座について引き続き寄付金を募集いたしております。振込口座は次の通りです。

- (1) 高鍋信用金庫
銀行名 高鍋信用金庫本店 (店番号001)
口座番号 1360949
口座名義 高鍋高校同窓会 育英会
代表 増田 秀文
※寄付金から手数料を差し引いた金額をお振り込みください。
(2) ゆうちょ銀行
銀行名 ゆうちょ銀行
口座番号 01700-9-141513
加入者名 宮崎県立高鍋高等学校同窓会「鳴海ヶ丘会」
※寄付金から手数料を差し引いた金額をお振り込みになるか、事務局が用意いたしました専用振込取扱票を御利用ください。

明倫奨学金

平成28年2月以降 福岡支部
※寄付者の公表は、同窓会支部、OB祭実行委員会、卒業生一同様に限らせて頂いております。企業及び個人の寄付者の公表は行っておりません。

平成27年度 同窓会費収支決算書

収入金額 3,791,869円
支出金額 3,607,476円
繰越金額 184,393円

収入の部

Table with 5 columns: 費目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Rows include 会費, 繰越金, 特別収入, 雑収入, 合計.

支出の部

Table with 5 columns: 費目, 予算額, 決算額, 残額, 摘要. Rows include 事務費, 会議費, 事務局費, 事業費, 内訳 (OB祭関係費, 支部援助費, 卒業生費, 事業推進委員会費, 広報費, 人件費, ホームページ管理費), 鳴海ヶ丘会館維持費, 旅費, 特別積立金, 改修積立費, 雑費, 予備費, 合計.

(収支) 3,791,869円 - 3,607,476円 = 184,393円 (繰越金額)

平成27年度 鳴海ヶ丘会 事業報告

Table with 3 columns: 日付, 事業内容, 出席者. Rows include 4月8日(水) 会計監査, 5月12日(火) 第1回三役会, 6月8日(月) 理事会, 7月1日(水) 明倫奨学金振込日, 8月14日(金) 高鍋高校「鳴海ヶ丘会」平成27年度OB祭, 9月8日(火) 2回三役会, 10月30日(金) 鳴海ヶ丘会々報62号発刊, 11月6日(金) 宮崎地区合同同窓会, 12月12日(土) 第1回「魅力ある高鍋高校づくりを考える委員会」, 1月23日(土) 第3回三役会, 2月1日(月) 明倫奨学金振込日, 3月31日(木) 明倫奨学金審査委員会.

同窓会入会式

2月29日(月)に同窓会入会式が本校体育館で行われました。増田会長をはじめとして同窓会役員、評議員、合計14名の方の御臨席の下、3年6組の善相原 美紅さんが入会した237名を代表して「入会式誓いのことば」を述べました。また、平成27年度OB祭実行委員会より本校へ「応援団用の太鼓」が寄贈され、この式の中で贈呈式と太鼓の披露が行われました。昨年に引き続き応援団OBの下川 洋一さん(S42卒)の音頭のもと、演武が披露されました。



平成28年度 出身中学校別生徒数

Table showing student numbers by school type and district for the 28th fiscal year, including categories like '普通科' and '生活情報科'.

◆ 平成27年度 進路状況 ◆

1. 進学・就職合格者数(過去5年間)

Table showing the number of students who passed university and job entrance exams from 2013 to 2017.

※準大学は、防衛大、防衛医科大、水産大、気象大、職業能力大、看護大。

2. 主な大学年度別合格者数(過去5年間、含過年度生)

Detailed table of university admission statistics for major universities from 2013 to 2017.

3. 主な短大・準大・高専等の年度別合格者数(過去4年間、含過年度生)

Table showing admission statistics for junior colleges and vocational schools from 2014 to 2017.

List of achievements including: ◎電気通信大・奈良女子大 東京学芸大・広島大・九州大 熊本大・大分大・鹿児島大等合格 ◎宮崎大18名合格 ◎宮崎大農学部獣医学科合格 ◎国公立大67名合格 ◎就職6年連続100%達成 ◎警視庁・東京消防庁 大阪府警合格 ◎自衛隊曹候補生10名合格

4. 就職状況(過去5年間。自衛隊・公務員は合格者数、それ以外は最終就職者数。過年度生を含まず)

Table showing employment status by industry (e.g., general, construction, manufacturing) from 2013 to 2017.

# 表彰関係

## 平成28年度宮崎県高等学校総合体育大会結果

| 競技・部名 | 個人or団体 | 競技種目         | 成績   | 氏名            | 学年 | 大会結果    |
|-------|--------|--------------|------|---------------|----|---------|
| ラグビー部 | 団体     |              | 優勝   |               |    | 九州大会出場  |
| ホッケー部 | 団体     |              | 第2位  |               |    |         |
| ボート部  | 個人     | 男子シングルスカル    | 優勝   | 藤岡 駿平         | 3  | 全国大会出場  |
|       | 団体     | 男子ダブルスカル     | 優勝   | 松生 洸<br>阿部 優樹 | 3  | 全国大会出場  |
|       | 個人     | 女子シングルスカル    | 優勝   | 進 つばさ         | 3  | 全国大会出場  |
|       | 団体     | 男子           | 総合優勝 |               |    |         |
|       | 団体     | 女子           | 総合優勝 |               |    |         |
| 水泳部   | 団体     | 男子舵手付きクオドルプル | 優勝   |               | 3  | 全国大会出場  |
|       | 個人     | 女子50m自由形     | 第4位  | 関屋 李菜         | 1  | 九州大会出場  |
| 剣道部   | 個人     | 女子個人         | ベスト8 | 圖師 香菜子        | 3  | 九州大会出場  |
|       | 個人     | 女子個人         | ベスト8 | 深田 晶          | 2  | 九州大会出場  |
|       | 団体     | 女子団体         | ベスト8 |               |    |         |
| 陸上部   | 個人     | 男子800m       | 第4位  | 銀鏡 達也         | 3  | 南九州大会出場 |



### 「九州大会を振り返って」

ラグビー部顧問

榎室 秀幸

長崎市で行われた九州大会の一回戦で全国大会準優勝の経験もある強豪佐賀工業高校と対戦しました。周りからは「厳しい組合せだな」と聞こえて来ましたが、選手達はこの対戦を熱望していました。中学時代に共に戦った旧友が故郷を離れ対戦校で活躍していたのです。選手はもちろん、指導者陣も絶対に勝って高鍋の力を見せようと断固たる決意を胸に戦いました。試合は高鍋の気魄溢れる魂のタックルが突き刺さり、会場は騒然。ついに高鍋が佐賀を倒す歴史的な瞬間が訪れようとしていたのですが、試合終了間際に悪い流れを断ち切れず、大逆転負けを喫しました。でもこのチームは成長期真っ直中。タフで勤勉なメンバーです。冬に素晴らしい花を咲かせることを約束します。

### 「九州大会を終えて」

ボート部

桂 遥奈・藤元 晴美

私たちが高鍋高校として出場する最後の大会が終わりました。県大会で妻高校に0.6秒差で負け、悔しさでいっぱいでした。表彰台に登ることに決めた苦闘なスタートを最初に最初から前に出る練習をしました。そうして迎えた本番当日。スタート直後にオールを手放してしまいました。練習した成果とができませんでした。準決勝、決勝が悪天候のため中止になったのは残念でしたが、悔いはありません。最後に、私たちがここまで来られたのは、柴田先生や保護者、ともに練習してきたボート部員、私たちが支えてくれたすべての方々のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございます。

### 「全国大会に参加するために」

放送部副部長

山村 采歌

私たち放送部は、全国大会に向けて日々さまざまな活動をしてきました。先日行われた県予選では、テレビドキュメント部門で、3位入賞をすることができ、全国大会に参加させていただくことに

### 「書道部 部活動紹介」

書道部顧問

長友 瑞枝

高鍋高校書道部は現在28名で土日も休まず練習に励んでいます。県内でも群を抜いての大会で、明るく元気、団結力がありいつも笑顔で活動しています。ここ数年の実績として、九州大会連続出場、全国規模での展覧会大賞(第一席)、他、上位入賞多数、県高校席上揮毫大会団体・個人入賞、高上揮毫大会文化祭連続最高ランク入賞、大人に混じったの県美術展入選などがあり、毎年確実に成果を残しています。

### 「全国大会に向けて」

写真部

永友 茉結香

今回、広島で開催される、高校総合文化祭の全国大会に出品させていただきます。作品はたくさん出ているので今からすることは特にはありませんが、三日間ある日程の二日目に撮影会があります。普段撮れない風景、たくさん撮れると思うので、いい写真が撮れるように頑張りたいと思います。また、交流会もあるので、写真の技術が向上するように努めたいと思います。



永友さんの全国大会出品作品「炎の舞」



書道部



放送部



ボート部

## 明倫奨学生 近況報告

平成24年度奨学生

戴押 大地

私はこの春、4年間の学生生活に幕を閉じ、新社会人となる。卒業までの最後の半年間は、社会人になるにあたり必要となる資格の取得やそれに準じた知識や教養をつける読書に励んだ。また、友人との交遊を通して、仲間と将来についての考えを深めることができた。この半年間は社会人になるための準備期間として有意義に過ごせたと思う。ここで改めて過去と向き合おう。多くの経験を通して着実に成長できているのではないかと思う。読書に励み、多分野に渡る教養をつけた1年目。読書は私にとって視野を広げる貴重な時間だった。サークル活動に打ち込んだ2年目。活動を通して友達と語り合える一生涯の友達を得ることができたのは大きな財産だった。米田留學で異なる価値観に触れた3年目。異国の地で多くの困難に直面しながらも、現地の学生とともに成長しあえた1年間だった。就職活動を通して将来について真剣に考えた4年目。「将来、どうありたいか?」という問いを、納得のいく答えが出るまで何度も自分に問い続けた経験は無駄ではなかった。このように毎年ステップを踏みながら一歩ずつ成長できた実感がある。

また、このような充実した学生生活を送っていったのは奨学金の存在が大きかったと思う。この制度があったからこそ費用の面で心配をすることなく、自分の目標に向かって真っ直ぐ走れたのだと思う。4年間お世話になった奨学金制度に対しては常々恩恵を感じていたが、今年の1月には宮崎日日新聞に明倫奨学金の奨学生として記事に取り上げて頂き、その素直な喜びを社会に発信することができた。明倫奨学金の存在と意義を社会に広める良い契機ともなり、私にとってもこの取り組みの発信に一役買えてとても光栄な出来事だった。これを契機として、今後も高鍋高校のOBという立場から母校の更なる発展、明倫奨学金の普及に積極的に携わることで恩返しをしていきたい。また、これから学生ではない社会人としての自覚と責任を持ち、「働くこと」を通して社会に貢献していきたいと考えている。

平成26年度奨学生

馬渡 大輝

今回は、大学生活の様子という内容で直近の2015年度後期の内容に絞ってまとめさせていただきま。この学期で大きく変わったことといえば、私の所属する理学部のキャンパスが移転したことになります。大学では今も他事、移転中なのですが、今年度の後期をもって理学部は新キャンパスへと移転してしましました。したがって、今学期からは、有難いことに新しい教室や施設等で学習することができています。次に、今学期の履修内容について述べさせていただきます。大学の全学部に通ずるカリキュラムとして前年度は教養科目目と専攻科目目に加え、専攻科目目と今年度は教養科目目と専攻科目目を加えたものを履修しています。理学部では、教養科目として英語や物理、化学の基礎的な内容を学び、専攻科目として分かれる専攻科目目では、物理の基礎科目をはじめとして、実験などを通して化学分析の手法などを多岐にわたって学びました。次年度以降の見通しとしては、私の所属する理学部では次年度の後期にこれからの勉強していく分野を決めることになっていきます。さらに今年度は教養科目について履修すべきものを履修したため、次年度からは専攻科目のみを履修することになります。それにあたって、教養科目の講義がない分、専攻科目における専門的な内容が深く、また習得に費やす時間、労力が増えることになると思われますので引き続き精進していきたいと考えています。

以上が大学生活の様子をまとめたものになります。最後に、同窓会からのご支援、誠にありがとうございます。これからも引き続きご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。

平成27年度奨学生

小松愛沙美

1年生の学習が終わり、大学に入学して約1年が経ちました。一年経ったこともあり私にも充実した日々を過ごしています。また、テストの点数や単位の取得状況がもうすぐ分かるため最近緊張しながら生活しています。講義を毎日受

けて話を聞いたり、ノートをとったりしてテスト前に頑張っていました。しかし、グループホームで下宿しながらバイトをしていくと講義で勉強したことがたくさん出てきてそれが基礎となって成り立っており、覚えて理解しておくことは当たり前のことで、勉強に対する姿勢が変わってしまいました。来年からもこのことを忘れず勉強に取り組みたいと思います。

後期は前期よりも内容が深くいろいろな考えさせられました。講義で事例を多く取り扱い、どう解決していくのかなど考えました。その際倫理的ジレンマがありどうするかに正解がないため、自分が本人にとってベストだと思える解決策を考えます。今までの勉強には正解が必ずあったためと大変でした。社会福祉士の仕事の大変さと奥深さを感じました。また、実際に社会福祉士として地域包括支援センターや社会福祉協議会で働いている人の話も聞きました。講義で出てきた事例のようなことが起こっていることや、解決の際の問題やその解決策などを聴くことにより社会福祉士としてどうあるべきか、今までのような考えを振り返ることがあります。

部活では初めて試合に出ました。まだまだですが出たことに意味があったと思います。これからより一層練習して上手くなりたいです。講義で生涯スポーツ実習が来年からなくなるため運動する機会が少なくなりますが、日常に運動を取り入れることをより意識して生活していきたいです。

生活ではもうすぐ一年経つため今下宿させてもらっているグループホームを出てアパートに一人暮らしをします。そのため食事を自分で作り家賃や高熱費、医療費もすべて自分で払わなければなりません。だから、これまで以上にしっかりとやりくりしていきたいです。アルバイトも変わらなければなりません。新しいところもある程度決まったのでそこでもいろいろなことを学び成長していきたいです。その他にもボランティアの講義は無くなりませんが自分で探して積極的に参加したいです。また、今までの人間関係を大切にボランティアなどを通してそれを広げていきたいです。そして、来年も様々な経験を充実した日々を過ごしたいと思います。